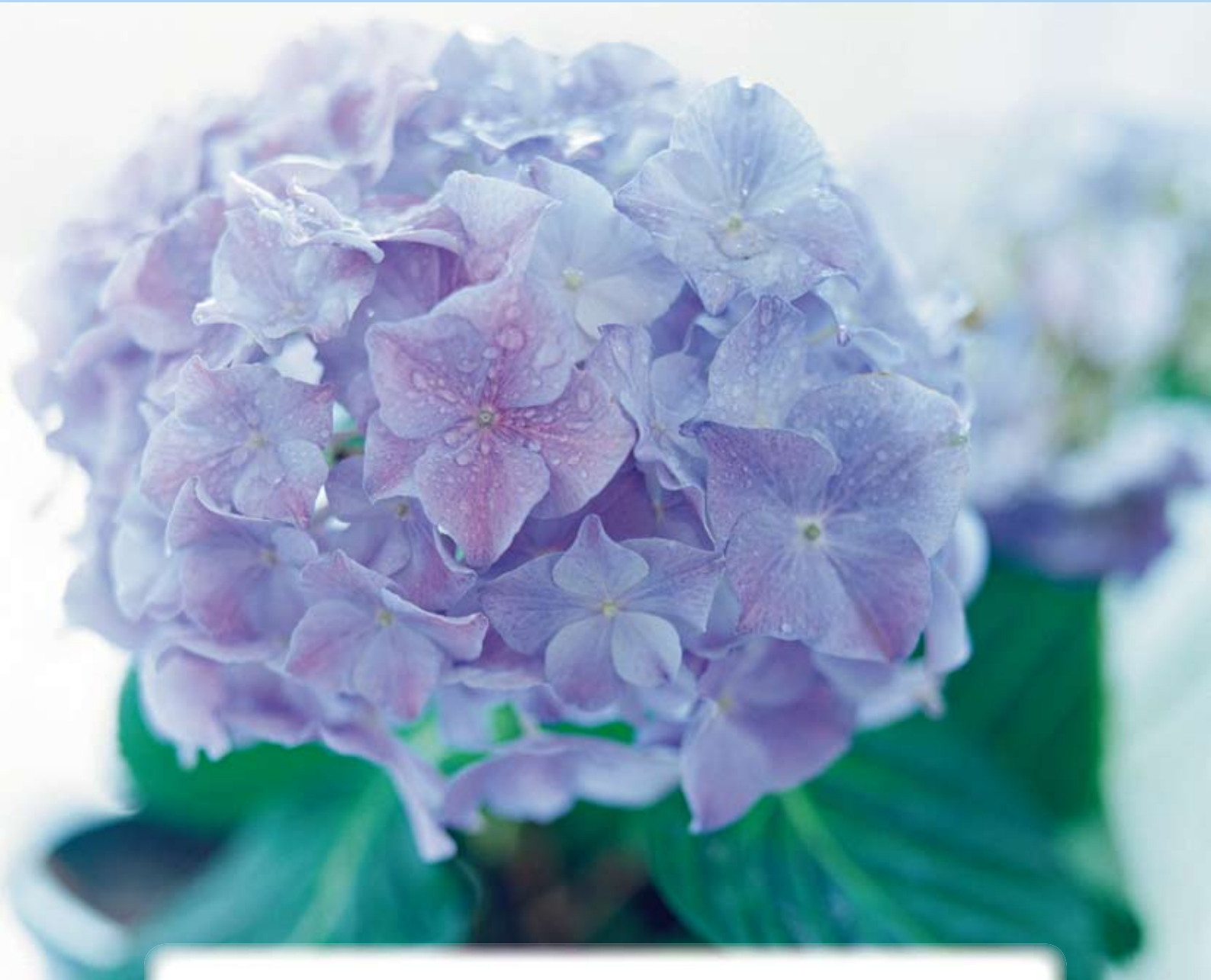




# バイオパシー協会 会報

2009年6月 Vol.5



## Contents

松下清則さん(昭和10年8月生まれ・73歳)の体験 ..... 2・3・4

バイオパシー協会は、「バイオパシー」という医療理論と実践方法の普及活動をしています。

# 松下 清則さん（昭和10年8月生まれ・73歳）の体験 （京都市西京区在住）

ここ2年ほどの間に色々な病気になり、入院と手術の連続でした。

平成19年には脳梗塞、心筋梗塞、腹部大動脈瘤。平成20年には胃癌の疑いで胃を全摘、誤嚥性肺炎と腸管狭窄。

満身創痍というのがぴったりと言えるほどの身体です。

平成19年6月13日の朝、喋ることができなくなっていたので、妻に車で病院へ連れて行ってもらい、MRIの検査室には自分で歩いて入りました。

検査の途中で右半身が動かなくなり、脳梗塞が見つかって入院することになりました。

バイオ・ノーマライザーは前から知っていたのですが、私は身体の自由がきかず、妻も気が動転していて、すっかりバイオ・ノーマライザーの事は忘れていて、食べ始めたのは入院してから3週間くらい経ってからでした。

入院中は点滴や飲み薬もあって、なかなかバイオ・ノーマライザーは食べられませんでした。1日の合計では6～9gを食べました。

医師に「長島監督と同じ状態で、これからは悪くなくても良くなることはない」と言われましたが、バイオ・ノーマライザーを食べながらリハビリをしているうちに、少しずつ手足の機能が回復してきました。

7月25日に退院しましたが8月5日に心筋梗塞が起きて、集中治療室に入りました。

検査した医師からは、詰まった血管の代りをする毛細血管のバイパスができていると言われました。退院後は毎日ポンピング法をしていたので、そのおかげだと思えます。

この時の精密検査で腹部大動脈瘤も見つかり、9月19日に人工血管に付け替える手術をしました。10月31日に退院しましたが、この間はひっきりなしの点滴や、大量の飲み薬を服用し続けたので、バイオ・ノーマライザーはほとんど食べられませんでした。

退院後、月1回の定期検診で胃にガンの疑いのあるポリープが見つかり、平成20年3月17日に胃の全摘出手術を受けました。

人工血管を入れていることもあり、手術ができるかどうかを慎重に検討したのですが、検査で血液がスムーズに流れていることが分かり、手術に踏み切ることができ、27日に退院しました。

平成20年6月5日には誤嚥性肺炎と腸管狭窄が起こり、再び入院しました。この時も思ったより回復が早く、21日に退院することができました。

様々な手術をして身体にメスが何回も入りました。同じところを2回切ったりもしましたが、傷跡もきれいですし、何の問題も起きていません。

院内緊急報告書

カルテNo. 00182927  
 患者名 マツタ 智乃 殿  
 性別 男 年齢 72 才  
 科目 脳内 病種 外来

検査日	項目名	基準値	測定値
2007年 09月 05日	総ビリルビン	0.2~1.0 mg/dl	0.8
	直接ビリルビン	0~0.4 mg/dl	
	総蛋白	6.5~8.3 g/dl	7.8
	アルブミン	3.8~5.3 g/dl	
	A.L.P	110~354 IU/l	224
	G.O.T	9~38 IU/l	30
	G.P.T	5~39 IU/l	17
	L.D.H	120~260 IU/l	232
	コリンエステラーゼ	195~465 IU/l	
	γ-G.T.P	Male 0~15 IU/l Female 0~12 IU/l	37
	C.P.K	Male 0~225 IU/l Female 0~190 IU/l	37
	血清アミラーゼ	35~140 IU/l	
	尿アミラーゼ	700以下 IU/l	
	総コレステロール	130~220 mg/dl	156
	中性脂肪	35~160 mg/dl	136
	HDL-Ch	Male 40~65 mg/dl Female 50~65 mg/dl	L 27.0
	LDL-Ch計算	140未満 mg/dl	102
	動脈硬化指数	5.0未満	H 5.8
	尿酸	7.0以下 mg/dl	5.4
	尿尿酸	8~20 mg/dl	16.0
	クレアチニン	Male 0.7~1.3 mg/dl Female 0.6~1.2 mg/dl	0.9
	Na	135~147 mEq/l	136
	Cl	96~110 mEq/l	103
	K	3.6~4.8 mEq/l	4.3
	Ca	8.2~10.2 mg/dl	
	血糖	60~110 mg/dl	H 190
	HbA1c	4.3~5.8 %	
	LDL-Ch	140未満 mg/dl	116

国保

江畑

清仁会 シミズ病院検査室  
 洛西シミズ病院検査室

院内緊急報告書

カルテNo. 00182927  
 患者名 マツタ 智乃 殿  
 性別 男 年齢 72 才  
 科目 脳外 病種 外来

検査日	項目名	基準値	測定値
2008年 06月 25日	総ビリルビン	0.2~1.2 mg/dl	
	直接ビリルビン	0~0.4 mg/dl	
	総蛋白	6.5~8.3 g/dl	7.1
	アルブミン	3.8~5.3 g/dl	
	A.L.P	110~354 IU/l	228
	G.O.T	9~38 IU/l	H 40
	G.P.T	5~39 IU/l	20
	L.D.H	120~260 IU/l	
	コリンエステラーゼ	195~465 IU/l	
	γ-G.T.P	Male 0~15 IU/l Female 0~12 IU/l	30
	C.P.K	Male 0~225 IU/l Female 0~190 IU/l	43
	血清アミラーゼ	35~140 IU/l	68
	尿アミラーゼ	700以下 IU/l	
	総コレステロール	150~219 mg/dl	L 137
	中性脂肪	50~149 mg/dl	83
	HDL-Ch	Male 40~65 mg/dl Female 50~65 mg/dl	L 23.0
	LDL-Ch計算	140未満 mg/dl	97
	動脈硬化指数	5.0未満	H 6.0
	尿酸	Male 7.0~10.0 mg/dl Female 6.0~9.0 mg/dl	5.9
	尿尿酸	8~20 mg/dl	16.0
	クレアチニン	Male 0.7~1.3 mg/dl Female 0.6~1.2 mg/dl	0.9
	Na	135~147 mEq/l	139
	Cl	96~110 mEq/l	104
	K	3.6~5.0 mEq/l	4.1
	Ca	8.2~10.2 mg/dl	
	血糖	60~109 mg/dl	100
	HbA1c	4.3~5.8 %	5.6
	LDL-Ch	70~139 mg/dl	86

佐藤

清仁会 シミズ病院検査室  
 洛西シミズ病院検査室

院内緊急報告書

カルテNo. 00182927  
 患者名 マツタ 智乃 殿  
 性別 男 年齢 73 才  
 科目 脳外 病種 外来

検査日	項目名	基準値	測定値
2009年 04月 08日	総ビリルビン	0.2~1.2 mg/dl	
	直接ビリルビン	0~0.4 mg/dl	
	総蛋白	6.5~8.3 g/dl	7.3
	アルブミン	3.8~5.3 g/dl	
	A.L.P	110~354 IU/l	218
	G.O.T	9~38 IU/l	24
	G.P.T	5~39 IU/l	11
	L.D.H	120~260 IU/l	190
	コリンエステラーゼ	195~465 IU/l	202.6
	γ-G.T.P	Male 0~15 IU/l Female 0~12 IU/l	16
	C.P.K	Male 0~225 IU/l Female 0~190 IU/l	52
	血清アミラーゼ	35~140 IU/l	73
	尿アミラーゼ	700以下 IU/l	
	総コレステロール	150~219 mg/dl	
	中性脂肪	50~149 mg/dl	78
	HDL-Ch	Male 40~65 mg/dl Female 50~65 mg/dl	L 38.5
	LDL/HDL比率	1.60未満	3.1
	動脈硬化指数	5.0未満	
	尿酸	Male 7.0~10.0 mg/dl Female 6.0~9.0 mg/dl	5.5
	尿尿酸	8~20 mg/dl	17.1
	クレアチニン	Male 0.7~1.3 mg/dl Female 0.6~1.2 mg/dl	0.95
	Na	135~147 mEq/l	139.1
	Cl	96~110 mEq/l	101.8
	K	3.6~5.0 mEq/l	4.04
	Ca	8.2~10.2 mg/dl	
	血糖	60~109 mg/dl	H 125
	HbA1c	4.3~5.8 %	5.4
	LDL-Ch	70~139 mg/dl	119.8

佐藤

清仁会 シミズ病院検査室  
 洛西シミズ病院検査室



現在は病院で投与される薬を飲みながら、バイオ・ノーマライザーを食べています。水を飲んだ後であろうが、食事の後であろうが、好きな時に、好きな量を食べています。

今は、発音が少し不明瞭という事と右足の動きが悪いのですが、箸も使えるし、起床や立ち居振る舞いはほぼ普通にできるし、杖なしでも歩けます。

妻が身体障害や介護保険の認定申請をしようとしたら、これだけ機能回復ができていれば認定は難しい、と医師に言われたそうです。

## ● 妻：泰子さんの話

入院してからというもの、私は夫の手足を動かし続けました。点滴が終われば、腕を頭の方に伸ばしたり、横に動かしたり、マッサージもして、筋肉や関節が固まらないようにしました。

発病した後、ただ見守っているだけではダメだと思います。バイオ・ノーマライザーを食べたことが機能回復にとても役立ったと思います。麻痺した手足を常に動かしていたことも良かったのだと思います。これは患者本人にはできないことなので、家族の皆さんが是非ともやって欲しいと思います。

退院してからは、食事や水にも注意しましたが、とにかく病院からもらう薬が半端な量ではありません。薬の副作用が怖い事やバイオ・ノーマライザーの効果が弱くなることは知っていますが、脳や心臓の病気では薬を止めることはなかなか難しいです。

薬をしっかり飲みながら、バイオ・ノーマライザーを食べていましたが、夫は今、食事は自分で出来るし、服も靴下も一人で履けます。日常生活で困るような事はありません。介護する側から見れば、それが本当にありがたいことです。



### ■ 入会のご案内 ■

入会金：1,000円 年会費：1,000円  
ホームページからも手続きができます。

#### 会員の特典

- 隔月発行の会報が送られます。
- ホームページの会員専用ページにアクセスでき、最新情報が閲覧できます。
- 書籍等の割引購入ができます。

### ■ 大里 章 著 ■

『自然治癒力で病気を治す！  
～バイオパシー理論と  
その実践法～』

新書版 158ページ

販売価格(税込)800円  
(会員価格500円)

#### 発行：バイオパシー協会

〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川929-2

Tel 048-711-3455

Fax 048-688-1896

ホームページ <http://www.biopathy.jp>

平成21年(2009年)6月発行

発行責任者 小林 隆 1部200円

この会報は、会員の皆様にバイオパシー協会の活動目的である、医療情報の提供を目的として作成しています。商品の購入は自己責任でご決定くださるよう、お願いいたします。

この会報の著作権は、バイオパシー協会に帰属しています。いかなる目的であれ、無断で使用することを固く禁じます。